

令和元年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	教員海外発表支援経費
研究者氏名・所属・職名	塚田康弘・岩見沢校・教授
発表標題	ロベレート音楽祭における演奏会の企画・国立ヴェネツィア大学における特別講演の研究
発表学会名	1) ロベレート・モーツァルト週間 2019 2) ヴェネツィア大学特別講座
発表年月日	1) 2019年9月21日、22日 ロベレート・モーツァルト週間 2019 2) 2019年9月23日 ヴェネツィア大学
発表場所 ※会場名・都市名（国名）	1) 9月21日=ロベレート アラ Palazzo Pizzini、 9月22日=ロベレート ラガリーナ Palazzo Libera 2) ヴェネツィア大学 Aula Magna Ca' Dolfin(旧ドルフィン邸大教室)
概要	<p>（日本語）</p> <p>1) 音楽祭のテーマ「モーツァルトとサリエリ」をテーマに、レクチャーコンサートを企画した。レクチャーは、2015年に発見された、モーツァルトとサリエリそしてコルネッリとの合作によるカンタータからもたらされた当時の作曲家の交流について論述した。演奏は、新作「モーツァルトへのオマージュ」の基本となる二重唱を演奏した。</p> <p>2) ヴェネツィア大学特別講義で、「日本国の幕末明治初期における洋楽移入と、ヴェネツィアと天正使節団との文化交流について」を大学院生対象に講義・映像・音源を資料として講義した。</p>

	<p>(英語)</p> <p>1) A theme of the music festival planned a lecture concert under the theme of "Mozart and Salieri". The lecture enunciated about the interchange of Mozart and Salieri discovered in 2015 and the composer brought by the cantata by the collaboration with Cornerri at the time. The performance played the duet that became basic of new work "Omaggio a Mozart".</p> <p>2) It was targeted for a graduate student and, by Venice University special lecture, lectured on "Western music introduction in the early stage of the late Tokugawa period Meiji of Japan and Venice and the cultural exchange with the Tensho era mission" as a document by a lecture, a picture, a sound source.</p> <hr/> <p>グラフ・図・写真（発表の様子等）</p> <p>1)、2)のチラシ別途添付</p>
<p>成果の今後の活用等</p>	<p>1)モーツァルトに特化した音楽祭を毎開催しているのは世界では、ザルツブルク、ロベレート、そして北海道の三か所であり、モーツァルトの史跡のない日本で、モーツァルトの実際をどのように展開するか演奏材料として今回の企画が活用される。</p> <p>2)我が国の幕末から明治初期にかけての西欧音楽の移入が国策であったことに再び光を当て、我が国の音楽教育の発展についての基礎研究として活用される。</p>
<p>その他参考となる事項</p>	<p>別途添付、チラシ。</p>